

富士FJ1600選手権シリーズ 第4戦参戦報告書



岩倉 弘明

先日出場致しました富士FJ1600選手権レース第4戦の結果を下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF富士FJ1600選手権シリーズ第4戦

開催日時:

2005年9月18日(日)

開催サーキット:

富士スピードウェイ(静岡県)

ゼッケンNo.

72番

エントリー名:

NATS・IDI・オスカーFJ1600

エンタラント名

ニホン・オートモービルカレッジ

レースレポート

予選:

全12台中 5位(1分55秒871)

予選は路面温度が当初の予想よりも高く、後半にはタイヤのグリップ感が無くなってしまいタイムを伸ばす事が出来ませんでした。12台中5番手と比較的好位置に付ける事が出来ました。

決勝:

全12台中 10位

得意のスタートで順位を2つ上げ、3位で走行しておりました。

コーナーをかなり攻めて行く内に予選と同様にタイヤのグリップ低下が激しくなってきました。徐々にマシンのスライド量が増えてきてしまいました。

迎えた最終周にはバトルが激しくペースが上がらない為、6台の集団になり益々激しさを増してきました。

この時点で4番手に付けており、3番手の選手は最終コーナーがあまり速くないのでこのポジションであれば何とか3位は獲得出来ると考えておりました。

しかし、得意のダンロップコーナーで今まで後続の選手に差をつけていたのが、何故か追いつかれ抜かれてしまいました。

しかし、次のコーナーで何とか抜き返し3番手のマシンとの差を詰める為にこのサーキットでもっとも難しいと言われるネッツコーナーを立ち上がろうとしたその時にマシンのスライドを止める事が出来ずスピンをしてしまいました。

幸いな事に後続車両に追突されずにレースに復帰する事が出来、10番手でゴール致しました。

総評:

悔やんでも悔やみきれず、己に対して情け無い気持ちで一杯です。前日、夜遅くまでマシンを整備してくれていたメカニック、そしてご支援頂いている皆様、また応援にお越し頂いた皆さんに本当に申し訳無いと思っております。

この悔しさをバネに次回は既に最終戦になってしまいましたが、必ず優勝し良い形でシリーズを終わらせたいと思っておりますので、是非ともご支援の程宜しくお願い致します！！

今、自分達には何が足りていないのか、何が出来るのかを冷静に見極め最終戦は必ずや勝利の美酒に酔いたいと思います。



Hiro Iwakura